

(様式2(1))

事業所名 グループホームしいの木荘

## 目標達成計画

作成日: 平成 31年 1月 15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域の協力を得ながら、事業所自体が地域の社会資源の一つとして定着する為に、事業所発信の積極的な活動や交流が出来る様に取り組む。	・地域行事や交流の場に参加する機会を増やし社会の一員として暮らす。	・運営推進会議を有意義な場とし、地域と事業所がお互いに行事などの情報交換をしたり、協力を求める。	12ヶ月
2	26	利用者本位の視点を介護計画の基本とし利用者本人の「思い・ニーズ」の把握に努め、本人を含めた関係者(チームワーク)でその達成に取り組む。	・利用者本位の生活を支援する。 ・円滑なチームケアを行う。	・本人、家族の意向確認できる機会を持つ。 ・支援課題について共通認識を持ち介護方法を統一する。 ・振り返りの機会を持ち、アイデアを出し合い、現状に即したケアとなる様進める。 ・認知症ケアに関する知識や事例検討の機会を持つ。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。